



アフターコロナのさらなる支援

新井よしなお(諸派)

子育て世帯、生活困窮世帯、市内事業者などに対してアフターコロナのさらなる支援を求める。

政策経営部長 国の第2次補正予算の動向も踏まえ、どこどの程度の支援が必要なのかをまずしっかりと見極め、検討をしていきます。

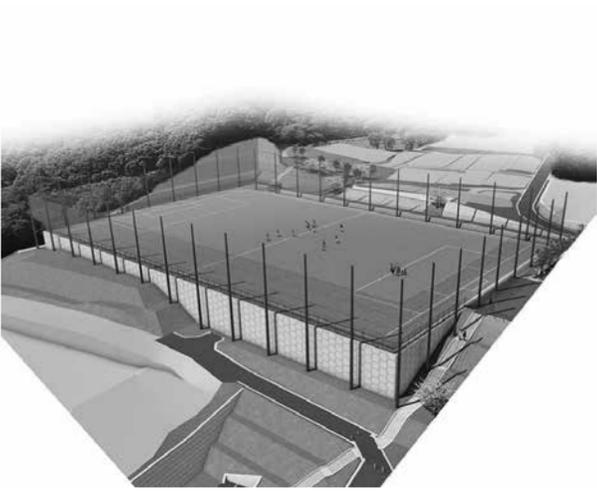
野球ができる場所をさらに確保すべきと考えるが。

文化スポーツ振興部長 大

学や企業が所有するスポーツ施設を、その活動に支障のない範囲で市民利用の機会を確保できるように努めていきます。

野津田公園拡張区域のグラウンド整備は、少年サッカーの公式戦が可能になる施設整備を求める。

文化スポーツ振興部長 公式戦を開催するためには、特注のゴールが必要であることは認識しています。整備を進める中で検討をしていきます。



野津田公園拡張区域多目的グラウンド(完成イメージ図)



子ども虐待・DV

藤田 学(自由民主党)

子ども虐待への対策は、子ども生活部長 ひとり親家庭等に市独自の一時金を支給します。虐待への対策は、関連部署や児童相談所とより積極的な地域ネットワークの連携を図り、未然防止、早期発見に取り組んでいきます。

子ども生活部長 ひとり親家庭等に市独自の一時金を支給します。虐待への対策は、関連部署や児童相談所とより積極的な地域ネットワークの連携を図り、未然防止、早期発見に取り組んでいきます。

体があったと聞く。今後もうした団体が活動を継続していきけるよう連携と協働を。

子ども生活部長 今後、庁内関係部署と連携し、情報収集に努めていきます。

DVの状況と対策は。

市民協働推進担当部長 市関係部署と外部機関で構成する連絡会議で、情報共有を図っています。今後、啓発カードの配布場所をふやし、相談窓口の周知を図っていきます。



子育て環境改善

森本せいや(まちだ市民クラブ)

コロナ禍下、臨時休校中の「家庭学習」は、児童や保護者に過度の負担を強い、指導室長 経験を踏まえ、適切に検討し課題として出すとともに、学習状況を把握、必要な場合は個別に指導、保護者等に協力を求めるときは留意点など示すなど改善を各学校に周知していきます。

コロナ禍下、経営の悪化する「放課後等デイサービス」等の福祉施設へ、給付金等支援策の早期実施を求める。

地域福祉部長 市としてどのような支援が必要か、国との動向を注視してまいります。

鶴川駅」の北口ロータリー拡張及び南口区画整理事業の現状と今後の予定は。

都市整備担当部長 北口は駅前公園の撤去、南口は事業計画の決定公告を行いました。今後北口は事業認可取得、南口は換地設計を進めます。

等支援策の早期実施を求める。

地域福祉部長 市としてどのような支援が必要か、国との動向を注視してまいります。

鶴川駅」の北口ロータリー拡張及び南口区画整理事業の現状と今後の予定は。

都市整備担当部長 北口は駅前公園の撤去、南口は事業計画の決定公告を行いました。今後北口は事業認可取得、南口は換地設計を進めます。



デジタル化推進

木目田英男(自由民主党)

コロナ禍を機に市のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進すべきと考えるがどうか。

市長 今年の3月には、これまで積み重ねてきた知見の下、最新のテクノロジーを市役所全体に行き渡らせるための組織として、庁内横断的なプロジェクトであるe-まち実現プロジェクトを立ち上げております。様々な場面において最新テクノロジーを積極的に導入、活用することで、DXを推進してまいります。

今回のコロナ禍における市の対応を教訓に、また第2波に備えて感染症対策BCP(事業継続計画)を策定すべきと考えるがどうか。

高橋副市長 将来に向けては、今回の対応を総合的にさらに検証した上で、感染症対策のBCPとして明文化をしていきたいと考えています。

いて最新テクノロジーを積極的に導入、活用することで、DXを推進してまいります。

今回のコロナ禍における市の対応を教訓に、また第2波に備えて感染症対策BCP(事業継続計画)を策定すべきと考えるがどうか。

高橋副市長 将来に向けては、今回の対応を総合的にさらに検証した上で、感染症対策のBCPとして明文化をしていきたいと考えています。



ウィズ・コロナ迅速な支援を

村まつ俊孝(公明党)

市に配分される地方創生臨時交付金の活用方法は、市長 家賃支援を含む事業継続や新たな生活様式への対応など活用可能な事業を検討してまいります。また、介護崩壊を防ぐため、地域の福祉を支えるための施策への活用を検討してまいります。

具体的にはどうか。

市長 例えば高齢者施設への支援等を検討しています。

一定程度の給付金の支出を検討しています。高齢者の居宅サービスとか、障がい者の訪問系サービスについても、併せて検討を進めてまいります。

市民や市内の中小事業者が対象となる新型コロナに伴う各種支援一覧表を作成し、周知してはどうか。

経済観光部長 一目で分かるような支援策一覧も、関係部署、機関と連携しながら対応していきたいと思えます。



妊婦支援給付金

松岡みゆき(自由民主党)

他市では胎児も1人の市民として4月28日以降に生まれた赤ちゃんに妊婦支援給付金を支給。ぜひ、町田市も

保健所長 20年5月25日からは、感染を防止する観点からタクシーチケット1万円分を配付しています。さらなる取り組みは研究していきます。

人生で誰もが迎える終末期を、どう迎えるか。市民病院の緩和ケア病棟とは。

市民病院事務部長 がん患者に対し、治療を目的とせず、苦痛及び不安を和らげ、患者や家族が穏やかな生活を送れるようサポートを行います。

コロナ対策で、ひとり親家庭支援の、子ども食堂やフードバンクの現状と今後は。

子ども生活部長 子ども食堂が運営自粛し、フードバンクは活動していました。今後、再開を希望する子ども食堂に対し協力していきます。



IT化推進/避難施設のあり方

おんじよう由久(公明党)

小中学校全生徒にタブレット端末を整備するこの機会に、**デジタル教科書の普及を、あり方を整備し市民に周知を。**

学校教育部長 小学校で希望があるかを確認し、導入に向けた検討を行っていきます。

行政IT化のさらなる推進には体制強化が必要では。

市長 本年3月に、最新のテクノロジーを市役所全体に行き渡らせるための組織として、庁内横断的なプロジェクトを立ち上げてまいります。

トであるe-まち実現プロジェクトを立ち上げております。

感染症流行下の避難のあり方を整備し市民に周知を。

高橋副市長 体育館内で、1人当たりのスペースを4平方メートルの1区画として表示し、ほかの避難者との距離が保てるようにし、また、感染症対策物資を各避難施設に配備します。広報まちだや市ホームページなどを活用し、周知に努めてまいります。



コロナ禍を生き抜く自治体へ!

渡辺徹太郎(自由民主党)

バラマキと考える財政出動が全国で散見されるが、災害等の備えである財政調整基金を計画的に確保し、第2波に備えるべきだが。

財務部長 予備費について、今後、想定されている新型コロナウィルスの第2波、災害などの不測の事態が発生した際の備えとして、危機管理の観点から適正な規模を確保しておくべきと考えています。

今後の観光施策として、域内観光の強化を提案する。

経済観光部長 議員がおっしゃるとおり、これから近隣区域からの日帰りなど、域内観光が注目されると思います。

経済対策や安全確保の観点から狭隘道路の拡幅整備を市内事業者で行うべきだが。

道路部長 市内の経済を回復するためにも、財政状況を勘案しながら早期に実施できるように検討していきます。



今感染症対策の

ちだ伸也(まちだ市民クラブ)

自転車利用を促進してはどうか。

道路部長 80名を超える職員が通勤を自転車に変更しています。また、レーン設置及び駅周辺の駐輪場整備を進めており、官民連携事業としてシェアサイクルと駐輪場シェアサービスも始めています。

市内で自然環境を脅かす植物、昆虫について問う。

環境資源部長 オオキンケ

イグクは市内で繁殖しています。在来植物に悪影響を与えてしまうことが考えられます。クビアカツヤカミキリは市内では被害連絡は受けていません。近隣自治体は被害が確認されています。

教員負担軽減について問う。

指導室長 各学校に教育課程の再編成の際、教職員の負担が過重とならないよう配慮することも指示しています。



コロナ禍での避難所対策を問う

若林章喜(自由民主党)

コロナ禍における避難施設はどのような対策をするのか。

高橋副市長 まずは体育館内で、避難者1人当たりのスペースを4平方メートルを1区画として表示し、ほかの避難者との距離が保てるようにします。また、避難者の検温を行うための非接触型体温計、消毒液、マスク等の感染症対策物資を各避難施設に配備します。これらの対応が迅速円滑に実施できるよう、マニュアルを整備します。

今やスマホはライフラインの1つである。避難施設にスマホの充電ができる電源を確保すべきだがどうか。

防災安全部長 充電できる程度の電源を確保するものとして、小型のこういったものが整備できるかを、近隣市の状況も交えて調査を行ってみたいと考えています。



各避難施設に配備される感染防止対策物資